

令和6年能登半島地震に係る災害関連死の認定について

令和7年7月23日に開催した輪島市災害弔慰金等認定審査会の審査結果を踏まえ、下記のとおり令和6年能登半島地震の関連死と認定しました。

記

認定：5件

認定の内訳 ※御遺族から承諾をいただいた範囲内で公表しています。

番号	年代	性別	経緯・認定理由
1	80代	男性	老人福祉施設にて被災。被災によって入所継続困難で市外の施設へ移るが、入所施設自体が被災したことによる介護環境の激変等により心身に相当の負荷が生じ、震災がなかった場合と比較してより早期に死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
2	90代以上	男性	自宅にて被災。近隣の避難所を経て、老人福祉施設に入所するが、震災自体によるショック・ストレス・恐怖に加え、停電断水下の避難所等での過酷な体験等により心身に相当の負荷が生じ、消化管出血を発症し出血性貧血により死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
3	80代	男性	非公表
4	90代以上	女性	非公表

その他1件はすべて非公表

(参考) 審査結果：審査件数9件（認定5件、不認定3件、継続1件）
災害関連死の認定総数120件